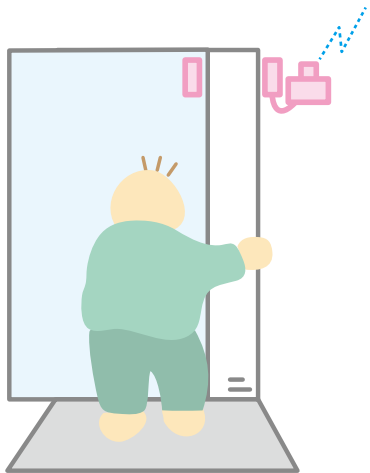




今月のテーマ 2016 秋の新製品「ドアコール」のご紹介

ドアが開くと報知する 「ドアコール」



引戸を開けた時に報知



扉を開けた時に報知

「ドアコール」はドアや窓に簡単に設置ができ、徘徊が気になる方の行動を把握できます。取付けはかんたんな貼付けタイプですので、様々な場所に設置ができます！

2cm 以上開けると
報知します！

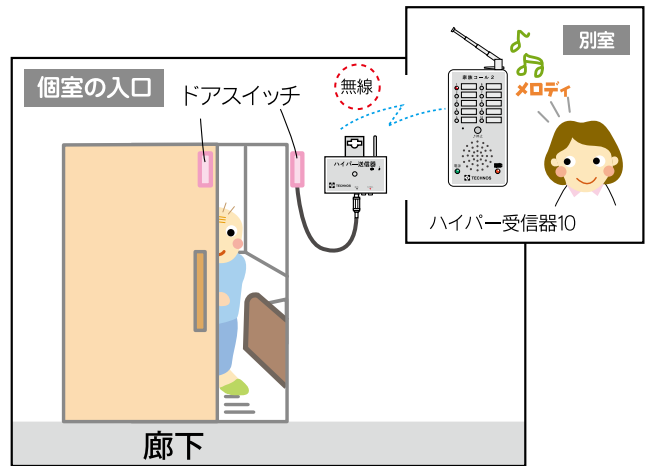


設置例

認知症の影響で、徘徊や離棟の症状がある 個室病室 A さんの場合

A さんは認知症による影響から、徘徊や離棟が頻繁に起きていました。床敷きタイプの離床センサーも避けてしまう傾向があるので、A さんの行動を妨げず、しかも気づかれにくい所に設置ができる「ドアコール」を取り入れました。

結果、部屋を出るタイミングで報知するので確実に声掛けができ、徘徊も減りました。また、スタッフの入室時は「一時停止機能」を活用し、センサーの作動を一時的に止めることができるので無駄な報知や電源の入れ忘れがありません。



報知方法は？

ナースコールもしくは、専用受信器（ハイパー受信器 10 or ポケット受信器）の 3 種類より、お選びいただけます！

ナース
コール



ハイパー
受信器10

ポケット
受信器

一時停止機能

送信器にある「一時停止ボタン」を押すと、約 5 分間報知を止める機能です。時間が経つと自動復旧します。



ドア開きアラーム機能

ドアが開きっぱなしになっていると、5 分後にアラームでお知らせします。

